事例No.	2795
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	有限会社シュシュ

事例区分	地域活性化

タグ	・関係人口 ・観光 ・人材確保・育成

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

有限会社シュシュにおける消費者と農業者の協同による地域貢献

出典

令和５年度ふるさとづくり大賞事例集

最優秀賞



有限会社シュシュにおける消費者と農業者の協同による地域貢献

有限会社シュシュ

DATA

事　例　名：有限会社シュシュ
　　代表取締役　山口 成美
所　在　地：長崎県大村市弥勒寺町486
連　絡　先：TEL 0957-55-5288
　　FAX 0957-55-5323
　　E-mail info@chouchou.co.jp
ホームページ：http://www.chouchou.co.jp
オンラインショップ：https://shop-chouchou.com/

取り組みの概要

有限会社シュシュは元々、専業農家8人で立ち上げた会社で、地元農産物の直売所、アイス工房、パン工房、洋菓子工房、加工施設、レストラン、農業体験施設(いちご狩り、ぶどう狩り)を経営、専業農家としての自立を基本に、生産・加工・販売の六次産業化を確立するとともに農業人材の養成、都市住民との交流、食育活動、グリーンツーリズム(農家民泊やフルーツ狩り体験)受け入れなど創造性に富む活動を展開している。

評価された点

●直販所を開始したころからスタートし、その後、多様な活動に展開しており、グリーツーリズムや農業塾などにも展開している点を評価。

●地産地消・六次産業化・観光集客(店舗経営)など、これまで求められてきていたものがすべて含まれる形で成果をあげている点を評価。

●専業農家によって立ち上げた事業所が、多角化しながら、大きく拡大し、地域経済の活性化に貢献している点を評価。

●観光農業という切り口で農業の高付加価値化、所得増大に寄与しており、今後の他自治体の参考となる事例である。さらに農業研修生の受け入れなどによる人材育成にも力を入れている点や、自治体・他団体との協働体制も評価。

●加工やレストランやツーリズムなどまで発展しており、地域にさまざまな形で貢献している。実績も素晴らしく、他の地域においても参考になる取り組みである。

●専業農家が集って仮想的に規模を大きくするといった試みは日本には根付きやすく、横展開の可能性を期待したい。

取り組みのプロセス

取り組みを実施するに至った要因・背景や地域課題
その取り組みを実施するに至った要因・背景や地域課題について記載。

行政や外部からの支援
行政や外部からの支援などについて記載。

きっかけ

1996年～

・農業所得の向上を図るためビニールハウスにて直売所「新鮮組」を 開始。





生産者と消費者が直接交流
・「顔が見え、話ができる」「安全・安心」

2000年～

農業交流拠点施設「おおむら夢ファームシュシュ」開業
・農作物直売所。
・アイス工房、パン工房。
・ぶどう畑のれすとらん、食育体験。
・イチゴ観光農園。



2005年
・洋菓子工房オープン・直売所「新鮮組」増築。

2007年～
・農業塾開始。

2009年～
・農産物加工センター開業。

2009年
・グリーンツーリズム大賞受賞。

2015年
・直売所甲子園優勝。

2020年
・オーライニッポン大賞受賞。

2021年
・六次産業アワード農林水産大臣賞受賞。

2021年
・農林水産祭多角化経営部門天皇杯受賞。

今後の展望

・規格外農作物を利用した加工品の開発。
・さらなる地域資源を活用した商品開発。
・他の市町村と連携したオリジナル加工商品の開発。
・地産地消推進拡大のため、保育園、福祉施設への給食食材の提供。
・地域おこし協力隊と連携し、SNS等を利用した地域PR活動の強化。

受賞者のコメント

この度は内閣総理大臣賞を受賞させていただき心より感謝申し上げます。
私たちは農業を通じて地域活性化を目指し、六次産業化やグリーンツーリズムの推進、農業後継者の育成などを積極的に取り組んでまいりました。
今では年間約50万人のお客様にお越しいただく地域になることができ、農家の所得向上にも寄与することが出来ました。
今後も活動の幅を広げ、さらなる地域の活性化に努めてまいります。